

2020/12/22

# リトルハウス通信

今年も残り数日で終わろうとしています。

皆さまは今年一年どのように過ごされたでしょうか。

私がリトルハウスに入職した今年2月1日から、ちょうど10か月が経過しようとしています。

この10か月間を言い表すならば「コロナ渦とどう折り合いをつけて施設を運営していくか」に格闘した月日だったと思っています。

私がリトルハウスに入職した頃、ダイヤモンド・プリンセス号の乗客から、新型コロナウイルス感染者の発生が世間を賑わし、しかし、その頃はまさか現在のよう新型コロナウイルスが世界的で大流行するとは夢にも思っていませんでした。その後、入職して1か月が経過した3月に、コロナウイルス蔓延に伴い、施設閉鎖の検討の話し合いがもたれたのです。

結論、

以前の「リトルハウス通信」にも書きましたが、リトルハウスでは施設閉鎖はせず、12月末の現在においても開所を続けています。しかし開所をするにあたって、民間団体としてスタートした2002年から18年間に少しずつ積み上げてきた、施設運営に伴う慣習やルールを大きく変更せざる負えない局面が多々でてきました。

その改革（新型コロナウイルス感染予防対策）をしていく事が、僕のリトルハウスでの最初の重要なミッションとなったのです。

例えば、施設内の消毒ルール策定と実施、作業時のメンバー間の距離の明確化、在宅支援の導入、利用者の方への仕事割り振り方法の変更、コロナ感染の可能性が高い仕事（エレベーター清掃等）の受注の中止、新たな作業の開拓等々です。

上記のように、この数か月の間に施設の運営方針を大幅に変更していったのは「リトルハウスを開所し続ける」という明確な目的があったからです。そしてその目的に利用者の多くの方々が賛同して下さったからこそ、改革がスムーズに進んだのだと考えています。

それは「居場所」としてのリトルハウスに必要性を感じた利用者の皆さんが、職員と共に「居場所を死守」する努力をしてくれたからにほかなりません。

まだまだ続くであろう、この新型コロナウイルス騒動ですが、職員、利用者共に「居場所を死守する」為に、引き続き一致団結していきたいと思います。

ではでは最後に。

12/21に行われた調理レクレーションにて、職員と利用者さん、みんなで作ったティラミスをご覧ください！！



なかなか本格的で美味しそうなティラミスに見えませんか？

もちろん！衛生管理を徹底して作った100%手作りティラミス。味もまろやかで大変美味しかったです。

しかしみんなで食べる時はいっさいの主語禁止。無言で食べる事にすっかり慣れてしまった2020年だったなあ、とシミジミ思いながらティラミスを味わいました。

コロナ渦は来年も続くと思いますが、環境にたくましく順応しながら、良い年にしたいですね。

(鈴木)